



埼玉県議会議員

岡地まさる

県政
報告

信頼と責任

2026年 冬号

岡地まさる県政事務所

桶川事務所

桶川市上日出谷42-73

TEL.048(780)2982

FAX.048(780)2983

発行 埼玉県議会自由民主党議員団

県議会12月
定例会報告

一般会計補正予算【第6号】 750億9,602万1千円
流域下水道事業会計補正予算【第3号】 83億9,100万円 等を議決

県議会12月定例会は12月1日から19日にかけて開催され、一般会計補正予算【第6号】(750億9,602万1千円)をはじめ流域下水道事業会計補正予算【第3号】(83億9,100万円)等を議決しました。一般会計の補正後累計は2兆3,325億3,781万6千円となりました。

一般会計補正予算【第6号】の主な内容は、『「強い経済」を実現する』として高市首相が打ち出した国の総合経済対策に対応した予算です。物価高騰の影響を受ける生活者・事業者等に対する緊急支援として352億4,008万3千円、防災・減災・国土強靱化の推進として396億9,809万4千円、クマ対策による県民の安心・安全の確保として1億5,784万4千円が盛り込まれました。

流域下水道事業会計補正予算【第3号】は、八潮市道路陥没事故で通行止めとなっていた県道の仮復旧費用や仮排水管撤去の工事費等が計上されました。



10月1日、赤い羽根共同募金活動を大宮駅西口にて行いました。今年の運動テーマは「つながりをたやさない社会づくり」です。こどもの居場所づくりや住民同士のサロン活動などを重点的に支援するということです。皆さまのご協力、ありがとうございました。

物価高騰の影響を受ける生活者・事業者等に対する緊急支援

■生活者に対する緊急支援

47億805万1千円

●LPガスを使用する一般消費者等に対する支援 ●県立学校における給食等の保護者等負担軽減支援

■事業者に対する光熱費等の緊急支援

122億5,872万8千円

●特別高圧電力を使用する中小企業等に対する支援 ●医療施設、福祉施設、私立学校等に対する支援

■医療・福祉分野における処遇改善・物価上昇等に係る緊急支援

182億7,330万4千円

●医療施設、福祉施設等職員の処遇改善等 ●看護師等養成所及び病院内保育所の運営費支援 ●保育士等、児童養護施設等職員の処遇改善等
●地域子ども・子育て支援事業の継続支援

防災・減災・国土強靱化の推進

■公共事業の追加 396億9,809万4千円

●前回(令和6年度2月補正予算)の国の総合経済対策に伴う補正と比較し、+87億円28%増となる事業費を確保

クマ対策による県民の安心・安全の確保

■埼玉県クマ対策パッケージ 1億5,784万4千円

●人的被害等の防止に向けた緊急対応 ●人の生活圏への出没防止対策 ●生息状況の把握と適正な個体数の管理

都道府県初、優良事業者等の表彰規定盛り込む

埼玉県カスタマーハラスメント防止条例制定

12月定例会では、お客が従業員等に理不尽な要求をする(通称)カスハラを防ぐための「埼玉県カスタマーハラスメント防止条例」を議決しました。対象となる事業者は個人事業主やボランティア団体も含まれ、積極的に取り組む事業者等に対しては県が表彰する制度を、都道府県では初めて盛り込んでいます。施行は令和8年7月からです。

■事業者の定義

商品やサービスを提供する事業(営利を目的としない活動を含む)を行う法人その他の団体または個人として、ボランティア団体や個人事業主、さらには事業者団体(特定の事業分野の共通の利益を目指す2以上の事業者の団体)も含まれています。

■カスハラの3要件

- ①顧客等の言動、②社会通念上許容される範囲を超えたもの、③就業者の就業環境が害されること、の3点を要件としています。

■条例の基本理念

- ①社会全体でカスハラの防止を図らなければならない。
- ②何人もカスハラを行ってはならない。
- ③顧客等及び就業者が対等の立場で相互に尊重すること。
- ④顧客等の正当な要望の申し出等が妨げられないよう配慮すること。

県カスタマーハラスメント防止条例に 対して附帯決議を議決

埼玉県カスタマーハラスメント防止条例について、私たち自民党議員団はその必要性については認めつつも、運用にあたっては一定の配慮や注意が必要だと考え、県に対し3点について附帯決議を提案し議決しました。

- 1) 指針案の策定に当たり、カスタマーハラスメントの行為類型は県民の権利行使及び表現の自由に直結するため、慎重に検討し、指針案は所轄委員会に報告して、その意見を最大限尊重すること。
- 2) 指針においては、行為類型及び典型例を示すとともに、正当な権利行使に基づく通報等は尊重し、カスタマーハラスメントとして取り扱わないことを明記すること。
- 3) 指針の策定及び見直しに当たっては、関係当事者、専門家及び関係団体の意見を幅広く聴取し、十分に反映すること。



地域の皆さまと県政をつなぐ架け橋として全力!!

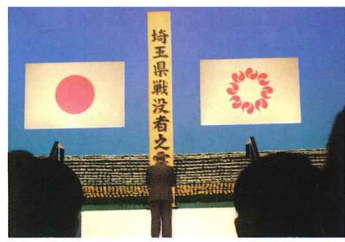
◆ 防犯のまちづくりキャンペーンに参加

10月10日、浦和駅東口にて防犯推進議員連盟による令和7年度埼玉県防犯のまちづくり街頭キャンペーンを行いました。
犯罪認知件数は平成16年をピークに減り続けていましたが、令和4年から徐々に増えています。皆さま、戸締まりは確実にお願いします。



◆ 埼玉県戦没者追悼式に出席

令和7年度埼玉県戦没者追悼式が10月11日に開催され出席しました。
最近も各地で紛争が起きており、何万人という方が亡くなっているニュースを聞き、痛ましく思っています。早く紛争が終結することを願っています。私はどのようなことがあろうとも、戦争はしないことをお誓い申し上げます。



◆ 桶川稲荷神社社務所竣工式・落成式開催

桶川稲荷神社の社務所の竣工式、落成式が11月1日に開催され出席しました。
社務所は祭礼や初詣を行うにあたり、打合せや準備をする場所であるとともに、地元自治会の会議や祇園まつりの太鼓練習等、集会所的な活用もされています。



◆ オケちゃんカラオケ連合会発表会開催

第1回オケちゃんカラオケ連合会発表会が10月30日、桶川市民ホールにて開催されました。これまで「桶川市カラオケ連合会」として年2回開催し48回を数えましたが、今回から「オケちゃんカラオケ連合会」と名称が変わり、初めての発表会となりました。



◆ おけがわスポーツフェスティバル2025



市制施行55周年記念「おけがわスポーツフェスティバル2025」が11月9日、桶川サン・アリーナにて13団体が参加して開催されました。
大人から子どもまで、誰でも気軽にスポーツ体験ができるイベントですが、かわったところで「昔遊び」としてベーゴマやコマ回しなどが種目にありました。

◆ 彩の国食と農林業ドリームフェスタ開催



2025彩の国食と農林業ドリームフェスタが11月15日・16日の両日、熊谷スポーツ文化公園にて開催されました。会場では新鮮な農産物の販売やゲーム、アトラクションなど様々なブースが出展し、たくさんの来場者でたいへんな賑わいでした。

◆ 桶川市制55周年記念式典開催

桶川市制55周年記念式典が11月16日、桶川市民ホールにて開催されました。
桶川市は昭和45年に県内31番目の市として誕生。当時の人口3万8000人から、現在は7万4700人へと約2倍になりました。桶川市のさらなる発展に向け、私も微力ながら働いてまいる所存です。



◆ 彩の国ビジネスアリーナ開催

令和7年度彩の国ビジネスアリーナが11月18日・19日の両日、さいたまスーパーアリーナで開催されました。県下最大級の展示商談会で、桶川市からも5社(国際チャート、坂田機械等)が参加をしていました。各企業には力強く、これから日本国内、世界に向けて飛躍していただきたいと願っています



桶川市消防団特別点検行われる

令和7年度桶川市消防団特別点検が11月23日、桶川小学校校庭で開催されました。今回は服装規律点検、機械器具点検、ポンプ操法、分列行進を拝見しましたが、たいへん力強く感じました。



スポーツ武道の広場開催

桶川市民まつり「スポーツ武道の広場」が10月26日、桶川サン・アリーナにて開催されました。今年は弓道連盟が幹事役での開催となり、開会式後には弓道の入り方、構え方など模範演技の披露がありました。



第48回桶川市民まつり開催

市制施行55周年第48回桶川市民まつりが11月3日に開催されました。市民まつりは昭和50年に第1回を開催し、今回で50年目となります。笑顔の輪があちこちで見られた一日でした。



図書室委員会

前橋市立図書館を視察

県議会図書室委員会は11月10日、前橋市立図書館を視察しました。前橋市では本館の他、前橋子ども図書館をはじめ各地区16か所の分館を持ち、機能を分担しながら一体的に運営しており、本館・各分館は「どこでも借りられ、どこへでも返せるネットワーク」で結ばれているとのことでした。



群馬県議会図書室を視察

午後に訪問した群馬県議会図書室は、県議会議事堂1階にスペースも広くあり、読書室2部屋、その他オープンスペースの閲覧コーナーも設備されており、ゆっくり読書ができるように配置されていました。蔵書数は2万8千冊とのことでした。



産業労働委員会

都水道局研修・開発センターを視察

産業労働委員会視察で11月19日、東京都世田谷区にある東京都水道局研修・開発センターを視察しました。
同センターは、水道専用の研修と研究・開発を行う国内最大規模の施設です。各種設備を有する庁舎の他、体験型の研修を通じ実践的な技術を身に付けることができる研修フィールドを有しています。近年は技術者も減少している中で、人材育成の重要性を改めて考える視察でした。



シャトー・メルシャン勝沼ワイナリーを視察

視察2日目となる11月20日はシャトー・メルシャン勝沼ワイナリーを視察しました。山梨県では平成28年に「山梨ワイン産地確率推進計画」を策定し、日本を代表するワイン産地ブランドの確立を目指しています。
シャトー・メルシャン勝沼ワイナリーは、同県を代表する伝統的なワイナリーの一つであり、地元産ぶどうの活用と地域との連携を通じて地域経済の活性化に寄与しています。またワイナリーツアーなど、観光資源としての役割も果たし、地域ブランド力の向上に貢献しています。



岡地まさる 県政事務所

〒363-0026 埼玉県桶川市上日出谷42-73
Tel. 048-780-2982 / Fax. 048-780-2983

ポスティング作業など、お手伝いいただける方を募集しています。詳しくは岡地まさる県政事務所へお問い合わせください。